

ROGUE SPEAR 2

ローグスピア





シヤンヌ
こっぴー!

ねえ

大丈夫っ?
:すっかり
してよ!

あっ...
よかった

ん...

分かる?
シヤンヌ
私だよ...
フィ...

ROGUE SPEAR 2

注：本書は「ローグスピア1」の続編です。
前作のあらすじは本の最後に記してあります。

第4話



昨日の夜…

私は
フィンの声で
目を覚ました



聞いた話だと

どうして?

ジャンヌ

フィンはいつまで
たつても帰ってこない
私を探すために屋敷へ
来てくれて…

偶然通りかかった地下の
部屋で倒れていた私を
見つけてくれたらしい

!?

ジャンヌ!!

そして…

あの悪魔騎士は
とうとう…

くっ…

どうも気絶した私を
放ったままにして
屋敷を離れたみたいだった

何でいなくなった
のかは分かんないけど…

とにかくフィンが
駆けつけた時には
私一人が横たわって
いたらしい

もちろん…
私が悪魔にあんな事を
されたなんてフィンには
言っていない…

それより気に
なるのが
あの言葉…

お前はもう
聖女の器じゃ
ないんだよ

もう変身できないんじゃないか
なんて思ってたから
あのすぐに
試してみたけど…

別にいつもと
変わりなく
ジャンヌになれた

一体…あれは
どういう意味だった
んだろう



あっ…
いけない!

あ…の…

まだ…

…やばっ

まあ
なにせよ

私にとって最悪の
状況が続いてる
のは確かだ

あの写真…
そう私がジャンヌの
正体だって証拠は…

約束の時間
過ぎちゃってる

アイツが
握ったままなんだから…

来たよ…
寺田くん…



やあ…
目下部さん

遅かった
じゃない

んまっ…

あんなパイプつけた
ままじゃ歩くのも
辛いだろうからねえ

遅刻は大目に
見てあげるよ

写真部部长

寺田君
てらだ

さあつて
さてさてえ…

んじゃ早速だけど
いつものヤツから
お願いね〜

はい…





ええええ〜!?

んっ...

んん...



なんだよソレ
ちくしょー!!

あの女アア...
なんかおかしいと
思ったんだ!

うん...
っ...

オイオイオイオイッ...
じゃあ何かい?
あのパイプはもう外し
ちやつて無いってか?

無料であんな良い
パイプくれるはず
ないもんな!
フンフンッ

んっ!

んふっ!

…て…てぎ…
寺…田君…

あッ…
あの人と

ゴクッ

ゴクッ

…どん…な
関係な…のツ…

べーつにイイ
…大した
仲じゃないよ

あいつは馴染みの
アダルトショップの
店員さん

昨日のパイプは
そこでプレゼント
された貰いもんさ

なん…だ…
寺田君は深く
絡んでないんだ…

んん!

んっ…ふ!

んぶ…!

んっ!

あゝ…それより
もう出るツ!出る!

キョッ

キョッ

キョッ

グキョ

グキョ

ゴクッ

ゴクッ





うぬはー
!!

ででで
出るー

はあ…はあ…

きよ…今日は…
すぐに飲んじゃ
ダメだ

ん？

グチュ
グチュ

い…いいかあ？
出た後もしばらく口ん中
に溜めておけよオオ



…くっー



んんっ!!

んっ!
…んぶっ!

あ…あ……
おっ…ぶ…オ



出した出た出た
たっぶり出た...

よ...よし



はあ...

んっ...

ん...ぶ

はあ...



グフフフ...

ハッ...

チッ



飲まずにちゃんと
溜めてある？

どうよ...

ブルン

う...
...ん...

OK・OK
OKイイ



それじゃ...

ゆっくーり
口開けてえ



ポクの精液が
日下部さんの
お口の中に
たっぷりイイー！！

うっはー！！

あ……っ

ん……

よ、よーし……それをだね……手に吐いて……制服にベタベタ塗るんだ……

昨夜見たAVの真似をしたがる寺田くん……



ゴメン……前言撤回するわ……

やっぱり口に戻しちゃってくれない？

……うげえ……

ダメだ
まじまじと見て
たらキモチ悪く
なってきた……

んあ……
ホッ
ホッ



分かってるけど…
でもこんなの…

さあさあ…
ほら早くっ！

ホワッ

飲んでよ！
愛が冷めない
うちにさ！！

グッ

……っ

んっ！！

しっかり
味わえよお

んっ…

ゴク…
ゴク

う…ぶ

ん…く

ん…

胃の中がボクの精液で
いっぱいになる事を
想像しながら…

そうそう…
それで良いんだ

最後の一滴まで
ありがたく
飲みきるんだぞっ

えへへ

う…
…つく

…ゲホツ

はーい
よく出来ましたア
えらいえらい…

ゲホツ

ボクなら一千万
あげるって言われても
あんなの飲めや
しないけどね

まさにキミの勇氣は
表彰モンだよ

…う…あ

んふふー

よーし…それじゃあ
その勇氣を称えて
日下部さんにスペシャル
チャンスをおあげちゃおー

…？



今からさ
何かボクを興奮させる
ような事してみてもよ

…興奮？



そっ……。

何をするかは
日下部さんの自由

もしボクの心を
ガツチリ掴むような
もん見せて
くれたら……

…見せたら？

あの写真…
ネガとセットで返して
あげてもいいよ



ほ…
ホントツ!?



ああ…

ボクは嘘の
つけない
性格でね

ゲ
ゲ
フ

正直者すぎて
弁護士になる夢を
諦めたくらいさ



どう？

スペシャルチャンス…
やってみるかい？

う…ん

分かった…
やってみる……



.....

…興奮…させる
ようなこと…

服を脱ぐとか…
でも…そんなの今更…

一体どうすれば…

おい
早くして
くれよ—

ビクッ

……
思い当たって…
あれしか…ない…

でも…
あんなの…人に
見せるなんて…

はい あと五秒！
五秒以内に
始めろよ—！

ダメ…だ…
…あれ以外…
浮かんで…ない…
もう…
こじなったら…
あれ…かな…い…？

ビクッ

…んっ！



うーん...
でもちよーっと
このままじゃ演出に
欠けるんじゃないかなあ



こつからじゃ
あんま良く見え
ないんだよね...



は...あ...

おほほー
そらそら...

やっぱりオナニーは股を
開いてナンボだよ

アキユ
アキユ

人に…見られてるのに…

手が…止まんないっ

グフフ… スゴイ乱れよう

あっ！

あ…

ぬちゅ

ちゅら

せつかくだからお手伝い

目下部さんって 正真正銘のスケベ女だね

ひっ…!?

ほーらほらほらっ… 入ってくぞー

んああ…

ああっ!!

ダメえー!!







良かった…

あっ
そーだ

実はボク昨日の夜
外へててさ

一つ言い忘れてた
事があった…

そんでまたまた
撮れちゃったんだ

スゴイ
のがっ！

ほーら
見て見てえー

何とっ！

今度はパイプ
突っ込んで変身
してる日下部さん
を激写だよーん

あっ……

あ……

これはヤバイよ
正体バレるところ
の騒ぎじゃない！

こんな変態写真
バラまかれたら…
ああ…目に浮かぶ…

週刊誌の卑猥タイトル
ワイドショーの追求
掲示板の中傷力キコ…

言っとくけど
BROは
あてにならないよ

第5話



……

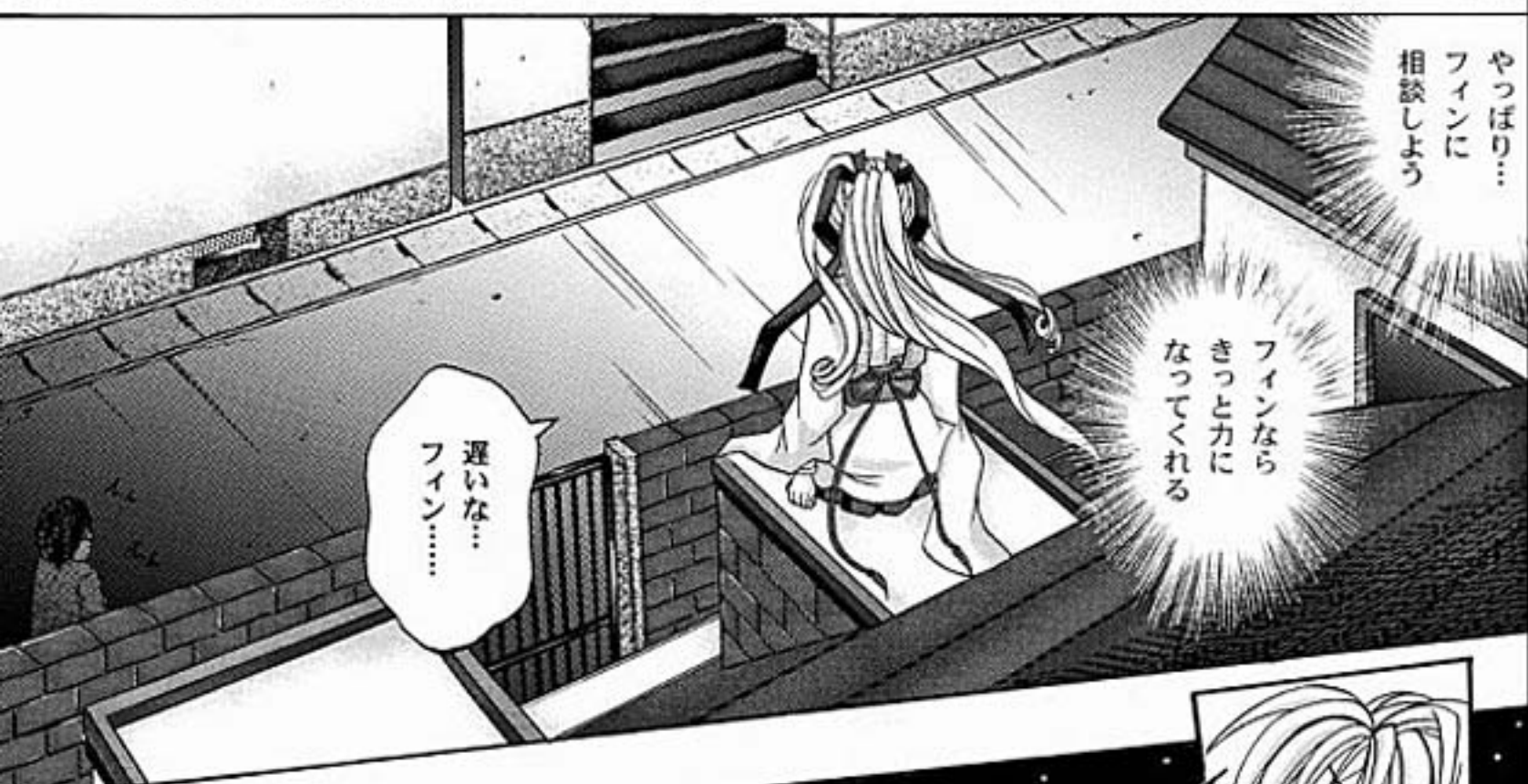
……こんなの……いつまで
続けられるの？

うーん
そうだねえ……

まっ
ボクとじちや正直
まだまだ日下部さんを
手放す気ないんだよ

これからもっと
深い仲になりたいの
からね……

グフフフ……





何で……？

なに……じゃあ
この家って
もしかして……

寺田君の
家なのっ!?



あっ!!

寺田君!?



これって……
絶好のチャンス
かもしれないっ！



そう……だっ



変身した今なら
力づくで写真を
取り返せるし

家ならネガだって
一緒に盗ることが
できるっ！



ア
タ
シ

悪魔と関係ない
物をジャンヌの
力で盗むなんて

ホントは…
いけない
事だけど…

…でも…もう
これ以上脅される
くらいなら…

……

あれだ…

間違いない

ここが…

M's room

アイツの部屋だ



上にくる前に
何とかしないと…



……



写真は
どころ！

写真は…



写真…

写真…



ここ…
これ…

これだ！

あつ！



あつた！！







やあ〜と最近
順従になって
きたと
思ったのに…

裏じゃ
歯向かうコト
考えてたんだな



予想してたとはいえ
こーも見事に裏切られ
ちやうとはねえ

つたしても
まーッ



お前は今から
お仕置だっ！

ひっ…



い…やー！

やめてー！

いやー！

ズズズズズズ

ファンク
黙れ裏切者

どーせ
ジャンヌになれば
ボクなんて一ひねりだ
なんて考えてたんだろ？

そんなの
大間違いだってコト
たっぶり教えてやる

ふっふっふ——
——い！

グフフフ…

何…をつ！

やっ…
放して！

物置



あっ！！

あーらふつと

ひ…





覚悟
しとけえ…

無敵だった
怪盗ジャンヌは
今日からメス犬に
なり下がるんだ

ふ、ふさけ
ないで！

おいおい

何が
メス犬よ！

さっきから随分
生意気な口のきき
かたするねキミい



なに？
ジャンヌに
変身すると…

性格も
変わるの？

はっ…



ん…あつ！！

なあんだ
安心した

変身しても
やっぱココは
弱いんだあ—

あつ！

いつ…や
ああつ！



脅してもムダムダ！
生憎ボクあキミの
本性知ってんだからねっ

やめ
ないと…
ホントに…
怒るわよ…



ココ触られると
なーんにもできない
メス犬なんだよねー

あっ

ジャンヌになろうが
しよせんキミは
重度の変態女…

ちゅ…
ちがつ…う！



へえ…
ならコレ
どうなのよ？
この大量の
マン汁はッ

だめエッ

ああっ！

だめっ！

!?

こーんなメス臭いモン
たっぶり
出しといてさっ!!

うっ…

ほらっ…
ほらっ…

…こんなの…
く…クスリのせいに
決まってる…

パーカ!
クスリが効く時点で
変態なんだよ

普通の神経してたら
ちよつと頭クラクラ
する程度なんだぜ

その点
キミは…

スゴイ
濡れ濡れ

グフフ

とろ…

こりや彼も
喜んでくれるコト
間違いなしだね

か…彼?

そっ…
今日のスペシャル
ゲストさ

さあ出番だ
カモーン!
ピグモーン!!

ききっ…いっち
おいでえ…

空音

クダッ

…えっ?

紹介しよう…
彼がピグモン君！
ぶっちゃけて言うと
犬だっ！

AV犬
ピグモン(♂)



それにしても
すいぶん鬱めったらしい
格好してゐるじゃないか



まさかあのジャンヌに
こんな趣味が
あったとはなあ

ち、違う…
これは無理やり…

経緯には興味ない。
…何にせよ今のお前は
なす恋なしといった
状況なんだろう？



くっ…

スッ

あービグモン君…
それじゃあ早速だけど…

ジャンヌをたっぶり
可愛がってやってくれ！



えっ!?



なっ…

何っ?!

何するつもりッ



おいおい
決まってるんだろ

今からこの犬と
交尾するんだよっ
交尾っっ!

う...そ...

さっき言ったろ?
ジャンヌを一晩で
メス犬にして
みせるって

あっ...あ...

あれ例え話じゃなくてさ
...オス犬のチンポで感じりゃ
メス犬同然って意味ね

そん...な...

クク...
だ、そうだ

観念しろジャンヌ

この身体を使って
お前をたっぷり
犯してやるミ

いやっっ!!

いっ...
いやっ!



イヤああー

っ!?

だめっ!

あああ



あっ!

んっ...

どうだ
ジャンヌ...

身体に犬の香き
入れられる
感融は

あっ!!?

気持ちいいだろっ?
この激しい動きが
たまらないだろっ?

あ...
あ...

フフ...せっかくた
余韻をもじっ
くれてやる

くはっあ

あ...
あっ...!



いっ……っ！

カッ！

この神の息が
かかった衣を
利用してな……



お前はすでに
猥褻に溺れた
メス犬の身

おいおい……
そう嫌がるな……

いっ……っ！

だめえ
え——っ！

陵ちた者に
神の衣など
まどう資格はない



んはあっ！

これなら尻尾として
見栄えもするからな

あっ……っ！

まあどうしてもどうし
ならば尻の穴にでも
突っ込んでいてやる

いやあ…
抜いてええつ

す…すこいよ
ピグモン君っ

キミって奴あ
そんな細かい
芸当まで…

よしー！
…ボクも
負けてら
れないぞ

ジャンヌの
交尾シーンを
素敵に演出だ！

あつ…

寺田…
いつの間…

グフフ…

…ほーらこれだと
入れやすいだろお？

あ…うう

さあジャンヌを
ぐちよぐちよに
犯してやれ！

つ…

いや…

お願い…
やめて…

まったくもって
恐ろしい人間だよ
コイツは



ジャンヌ…
これまでだ…

汚れて
しまえ

びーん

お…願…い…

それだ…

あ…
…あ…あ…

い…
あ…あ…!

い…
犬の…

そん…な…
う…そ…

あああ—

—
っ!?

入…っ…
き…て…る…!

い…っ…

凄いいいイイ…
なんてシチュだっ

あのジャンヌが
犬に犯され
てるっ!?

い…せっ!

あっ!

やっ…!

ん…はあっ

良い！すごく良いよ
サイコーだその表情っ!

ああー
っ!

録画

可愛く
撮ってやる
からなあ
グヒヒヒ…





うっ...あ

こん...な...

犬...なん
...かに

あぁっ...

ブツ
ブツ

ブツ
ブツ

あっ!

んあ!

ん...あ...

気持ち
いい!

あぁっ!

気持ち
いいっつ!!

おいおいその
濡んだ目は...もしや
犬相手に欲情か?

クク... 神の
使いもついにそこ
まで落ちたか...

あ...

あっ...

無理を
言うな

い...や

そ...れ
だけ...あ...

この生物はすぐに
イッてしまうのが特徴...
俺まんなら劉彦ま
てある神に予先を
向けてほしいものだ

い...
やあ!

そ...んあ

だが喜べジャンヌ...
この犬もお前の身体が
相当気に入ったらしい。

...とらやらあどっして結構
しどろな尻だ



それ……
……ハハ……

ききょう
ズ
ム



イ……

こん……な
……

……

あ……あ……

あ……

い……犬の……
犬なんかの
精液が……

イヤああ——

っ!!

私の中にッ……



お犬様の射撃は
10分以上が基本
だつっーの

おいおい…
そりゃ出来ない
相談だよ

早くっ

抜いてーっ

抜い…て…



むしろ
これだから
本番だつて

そ…

そん…な…



さあ…もっもっもっ
奥に突っ込んで
たっぷり曲してやろぞ

なかに
安心しろ

お前の身体は
すでに汚れきっている。
今更守るべきものなど
何も残っちゃないさ

あ…あ…
…あ…



さ...や...

生臭い
犬の精液を

ジャンヌ...
お前の子宮に
たっぷりな.....

あ...

あ.....

あ.....

びしょ

びしょ

ドッ

ドッ

ドッ

びしょ

第6話



はい...
ところが...
曲がって...

ん...



よおし
着いた着いた...

グフフ...



おーい
いるんだろー?

ジャンヌ
連れて
きたよー!!

スッ



...ん?

おお
そんな
ところだっ

ご苦労さま
寺田君...

カッ

見事な調教
だったわ
…はいこれ
約束してたお礼よ

ええ…効果は抜群
これでニキビ跡は
完全に消えるわ



イエエー
—イ!!

あーりがと——っ



…誰??

おお!

こ、これが
例の??

……また…
…悪魔…??



それじゃあ
ボクあこれでっ

何かあったら
また呼んでねえ!

はい
お疲れ…

さびて…



シャンヌう…
アンタの惨めな姿
サイコーだったよお

犬に犯される
気分ってとーんな
感じだったあ?



んー…正確には「全部仕組んだ」…ね

寺田に写真を用意したり、知り合いに頼んでアンタの聖気削ってもらったり…



あ…

あれは…
あなたが仕組んだことだったの…?



ホーントに面白かったあ

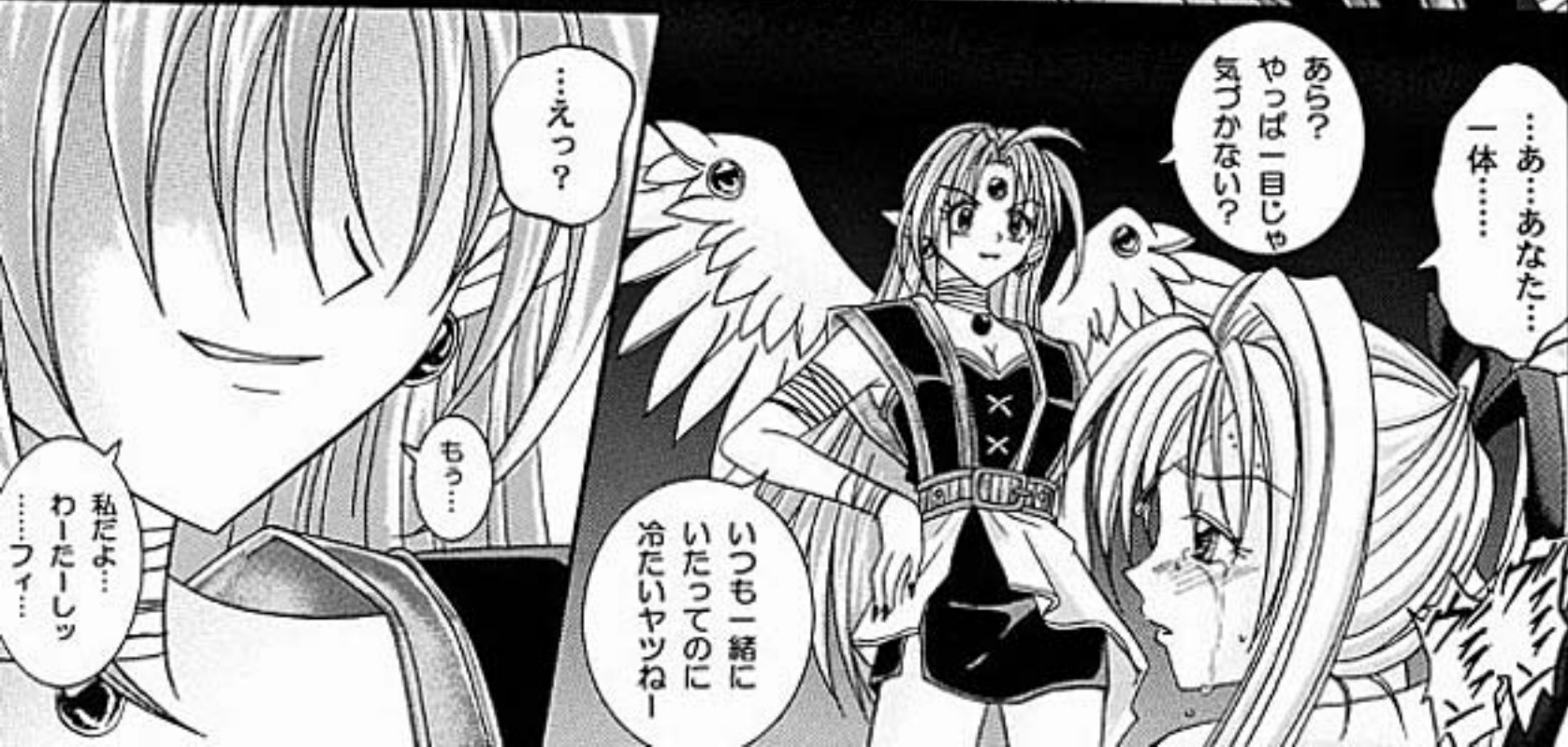
アンタがあーんあーんって喘ぐ声…さぞかし神は愉しがって聞いてたぞじきうね

くっ…

バーカ…なに今更反抗的な目してるのよ…変態女っ

今もパイプで感じちゃってるくせに

っ…



…あ…あなた…
一体…

あじっ
やっぱり一目じゃ気づかない?

いつも一緒にいたってのに冷たいヤツねー

…えっ?

もう…

私だよ…
わーたーしっ
…ファイ…







準備よ…
準備

な…
何…を…

…儀式のね



んっ!
フフ…せっかくの
お気に入り抜い
ちゃってロメンね

んっ!
あぁ…
あ…
う…
う…

アンタの臭いが
たっぷり染み付いてて
素敵なんだけど…



さあ——っ
準備は済んだ

でもこれから
やる儀式に小細工は
不要なのよっ

みんな出て
おいでえ——っ

これまで触れる事すら
できなかつた
下等なお前等でも…



シヤンヌはもう
聖気を失った
タダのメス犬!!!



今なら
犯し放題よ!!!



イヤー

さあ…
来なさい…

や…やめてっー

なっ…

やめ…っ…

イ…ヤツ…イヤツ!



いやああ——っ

程

!?



ああああ...



んっ!?

んあっ



しゅる

んっ

しゅる

んく!



んくく!?

んん!

ギョ



ハハハツ...!!!
どおシヤンヌ...

んんん
っ
!!!?



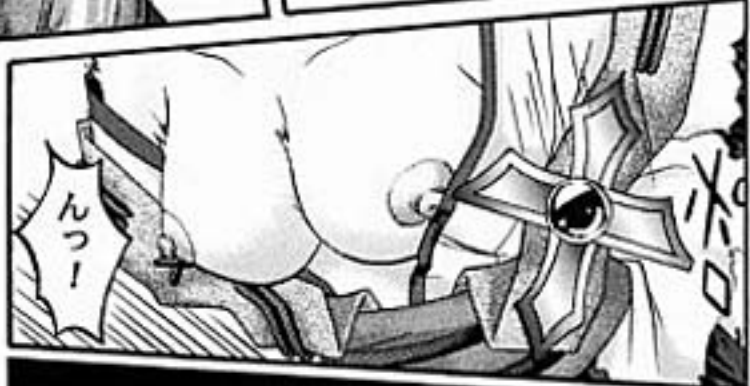
一回イ〜ンと〜ン
悪魔のどす黒い邪気が
お前の身体に
吸収されていくのよ〜

下等悪魔の汚〜い
触手の味はっ!!

ほらほら〜
さっさとイキま〜くって
身体中に悪魔を
染み込ませなさい!!!

あ…あ…

…ロザ…リ
オ……



神…様…

んっ…！
…んっ…！

んっ…

158…2…405…



こん…な…
妻いの…

う…っ
…んく！

ん…っ
…ふは…

んっ…ん！

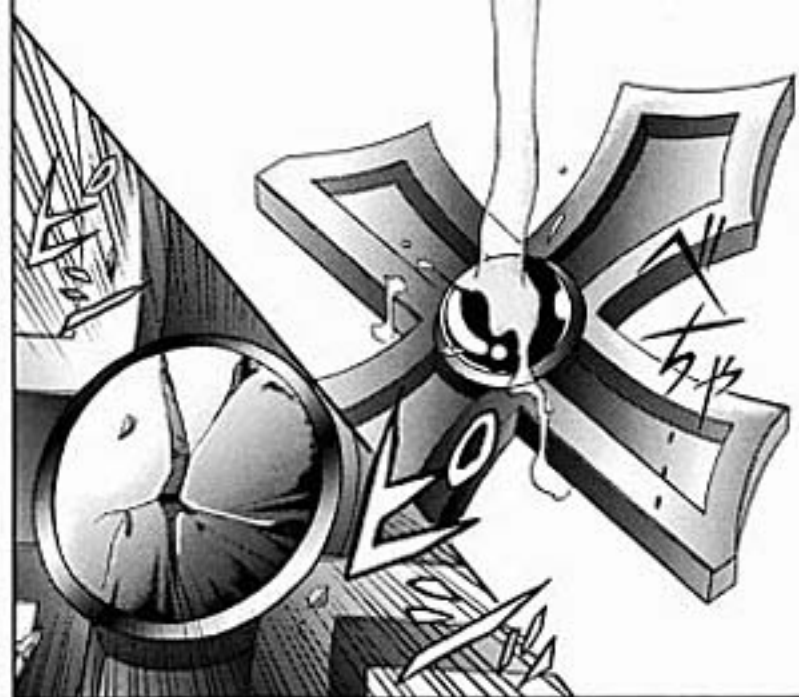
も…う…
…耐え…られ
ません…

ん…



わたし…し…
このまま…

悪魔に…



捧びます…



身体を…



あ——うう…
変身が解けちゃった

ついに
やったわね…
まろん

アンタもつ神の手の
届かないところまで
堕ちたのよ

でも安心
しっ

あっ…
…いっ!

いっつ……
きい……もち……いっつ!!

神なんかより
もっともっと優しく
してくれる御方を
紹介してあげるから

スッ

あっ

あっ

あ…ん

んっ…

ア
ア

思う存分
イッてイッて
イきまぐっちや
いなせいよ…

さあ…
もう吹っ切れ
たんでしょ?





あっ…
イク…

あっ！
イク！

イク！
イク…

あぁあぁ

っ!!!

あ…あ…
あ…あ…

ん…あ…

エピローグ



追えーっ！
とにかく
追えーっ！



.....

やーっぱあなたも
彼女の初仕事
見に来てたんだ



なんだ...



よっ

アンタが...



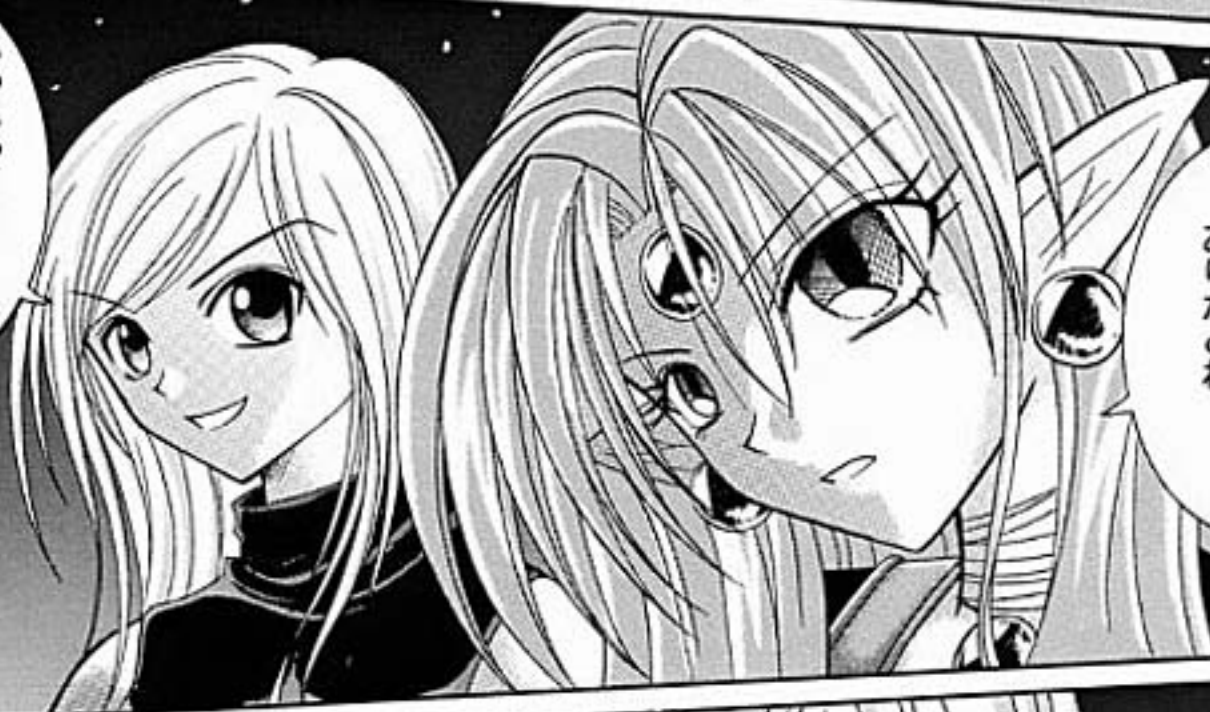
あーららー

フュンジャ
なーい

...この前は協力
ありがとね

いやいや...
私の方こそ感心させ
られまくり

ショックを与えるタイミング
とか言い回しアード演出
もるもる...見事だったもんね



もしかして
アンタって
さあ

かーなーり
アタマ回るタイプ
だったりすんの？



別に…

オセロと同じ
方法使っただけよ

オセロ？

ポイント上手く突いて
攻めればそれまで
白だったものが
全部黒になっちゃう

…オセロの
理屈が

ふーん…
…オセロねえ

そりやチエス好きな
上の連中からは
生まれない発想って
わけか…

そっか
そっかあー



これで…技がずい
すむんだから…

いたぞ
ジャンヌは
あの屋根だ！

ホカーン

おっ…
おい…

…なんか…
あれ…
ヘンだよな



これで…いいんだ

なによ
あれ…
いつもと全然
違うじゃない…





怪盗
ジャンヌ

魔王様に遣わされ
ただいま参上——っ!!



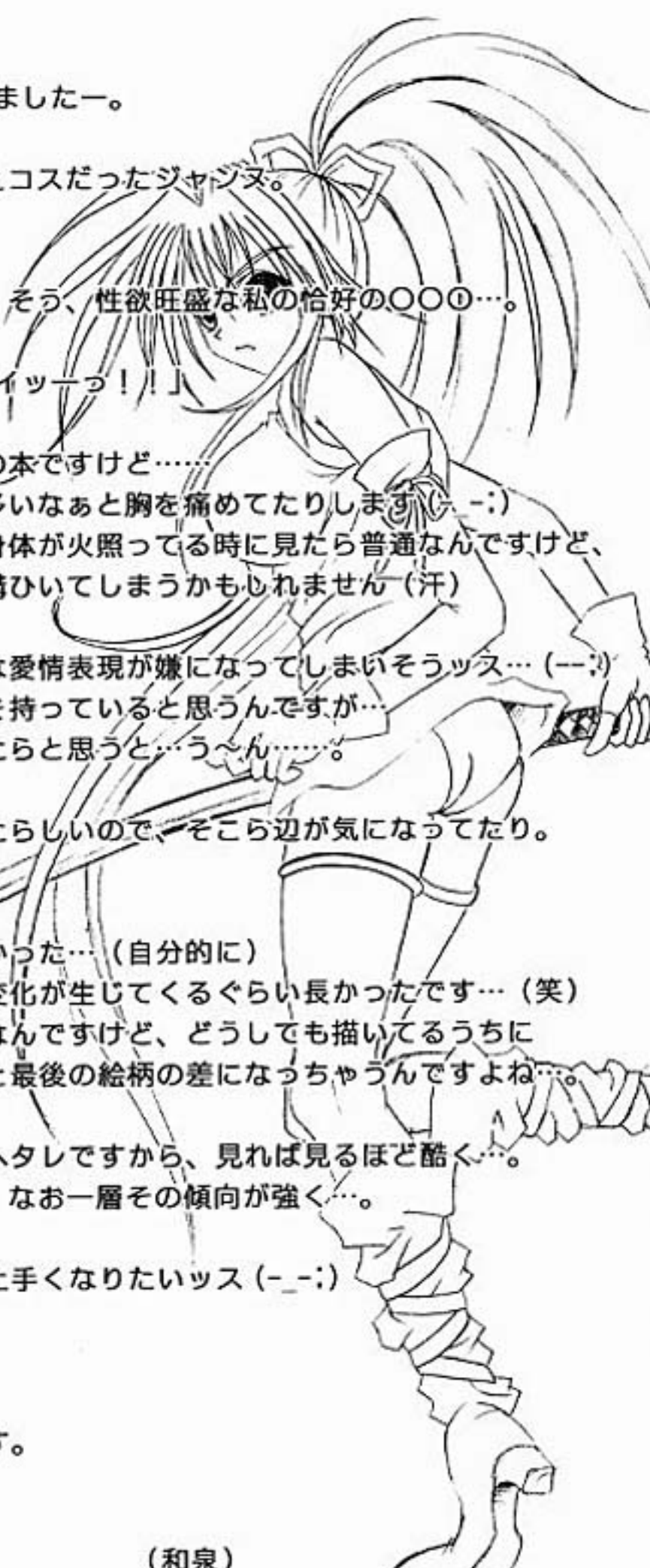
終

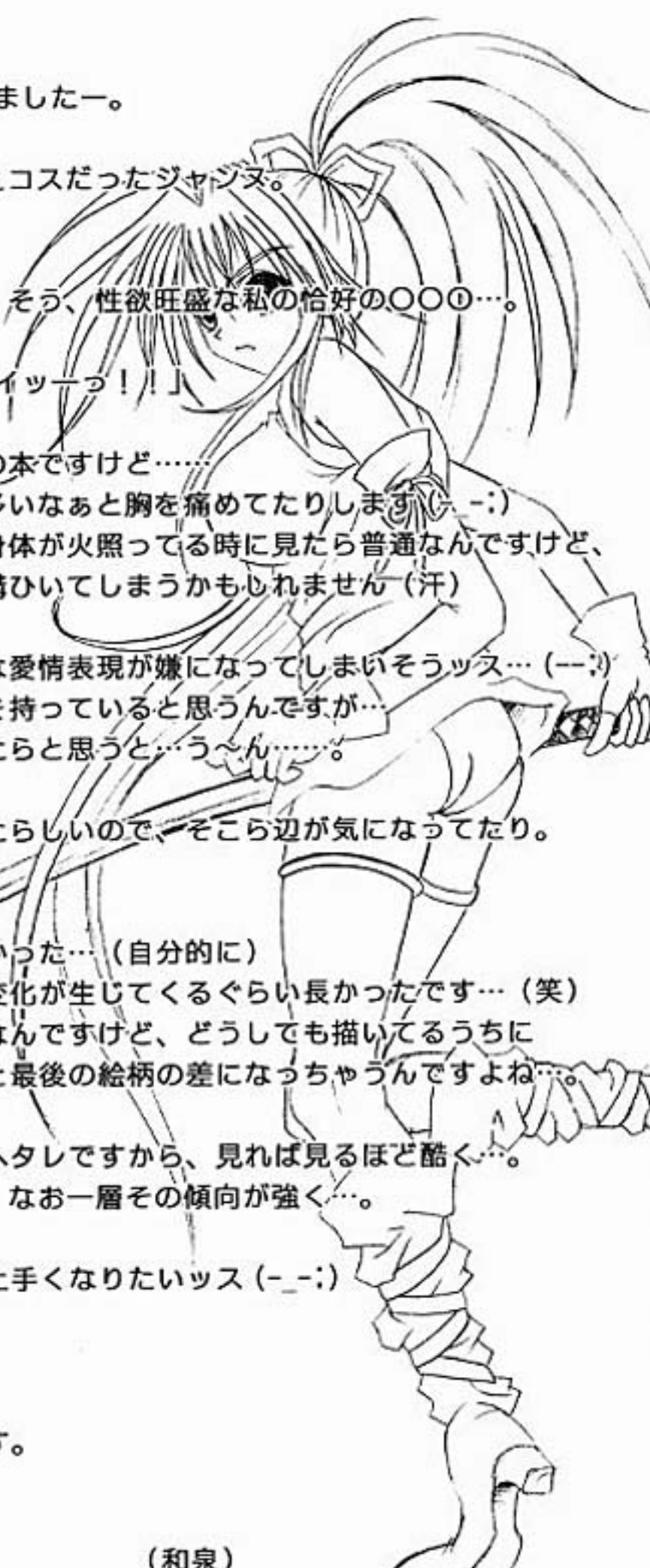
あとがき (2)

ってなわけで、「ログスピア」終わりましたー。

比較的最近のキャラの中で、抜群に萌えコスだったジャンヌ。
しかもポニテ！金髪！！
更に身も心も神聖だ——って設定！！
こんなパーフェクトなジャンヌたんは、そう、性欲旺盛な私の恰好の〇〇〇…。

「ジャンヌたん…。キミってホントにイイッーっ！！」

ってなわけで欲望ムキ出しで始めたこの本ですけど……
終わってみたら、正直ひどいシチュが多いなあと胸を痛めてたりします(;-;) 
精液飲んだり、獣姦とかのシーンは、身体が火照ってる時に見たら普通なんですけど、
性的シラフ(?)状態で読んだら…結構ひいてしまうかもしれません(汗)

ホントに…今回ばかりは自分の真っ黒な愛情表現が嫌になってしまいそうッス…(;-;) 
男性は多少グロいエッチシーンに耐性を持っていると思うんですが…
これをもしも女性の方がお読みになったらと思うと…うへん……。

前作は意外に女性の方が読んでくれてたらしいので、そこら辺が気になってたり。

さてさて、それにしても今回の本は長かった…(自分的に)
第4話とラストじゃ、作画&トーンに変化が生じてくるぐらい長かったです…(笑)
こればかりは仕方のない(?)コトなんですけど、どうしても描いてるうちに
一種の慣れが生じてきて、それが最初と最後の絵柄の差になっちゃうんですよね…。

しかも「慣れ」なんて言っても所詮はヘタレですから、見れば見るほど酷く…。
さらーにー、今回は80p本だったんで、なお一層その傾向が強く…。

うーん…もっともっと勉強を重ねて、上手くなりたいッス(;-;)

ではでは、今回はここら辺でお別れです。
また次の機会にお会いしましょー。

(和泉)

ローグスピア1 あらすじコーナー



- タイトル：「ローグスピア」
- 収録内容：ローグスピア第1話・第2話・第3話
- 判型：B5オフセット本
- ページ数：52ページ
- 即売会価格：800円 (在庫情報は2ページ先に紹介してあるサークルサイトにてご確認ください)



ジャンヌの変身を解いたところを目撃されてしまったまるん。その場に居合わせた写真部の寺田君はカメラに一部始終をおさめ、それをネタにまるんを脅していた。



ある日、いつものように公園の裏で寺田君に奉仕を強要されていたまるんだが、今日はいつものと少し様子が違っていた。より深い仲になろうと寺田君は、まるんにハードなパイプ突きパンティをはかせ、それを付けたままジャンヌになって悪魔の回収を試みろと言ってきたのだ。



その日の夜…。フィンに頼んで何とか見つけてきてもらった悪魔を回収するため、まるんはジャンヌに変身。早速ターゲットのいる屋敷に向かうのだが…。その矢先に、まるんの身体に埋められたパイプが急に音を立てて動き始めた。

突然の事態に声をあげて驚くまるん。いきなり全身に快感が走ったため、立っていることすらままならない状況なのだが…。しばらくすると、パイプの動きは静かに収まっていった…。

「これならば何とか…」パイプが止まったため、何とか身体を起こす事に成功したジャンヌ。相変わらず身体の火照りは極限状態だったが、寺田の命令を破ることは写真をバラまかれる事を意味しているため、それだけは避けたい一心で、身体を引きずりながら屋敷へ向かう。



屋敷についたジャンヌは、
ぎこちない動きながらも何とか警察の
網の目を潜り抜け、ターゲットまで
あと少しという段階にきていた。
だが…

ジャンヌが屋敷内部に侵入しようとジャンプ
した次の瞬間、再度パイプが激しい音を立て、
ジャンヌの体内の中で暴れ始めたのだった…。

パイプから送られてくる振動に負けてしまった
ジャンヌは身体のバランスを大きく崩し、
その場で大きな喘ぎ声をあげながら倒れこむ。
そしてそれは警官の耳にも当然届き、
最悪なコンディションの中、ジャンヌは警官達
に追われる羽目になった。

とてつもない刺激を前に、本来の力が全く
出せないジャンヌ。
ガクガクな足では満足に走る事もできず、
いつもなら追いついてすらこれない
ザコ警官相手に苦戦を強いられ、
挙げ句の果てに用意された罠にハマって
しまう。
縄によって吊り上げられたジャンヌは、
もはや耐えるのは限界とばかりに
恍惚と瞳を潤ませ、そして警官たちの
見てる前で失禁してしまうのだった。

失禁後、目を覚ましたのは、屋敷の地下室。
目の前にいたのは、初めて出会う悪魔騎士
だった。

悪魔騎士はジャンヌの身体からパイプを
取り出し、これが実は魔王からの授かりもので、
ジャンヌの聖気を吸い取るアイテムだという
旨を伝える。

そして寺田はこの道具を取り付けるために

利用されていること。また、もはやジャンヌに残された聖気はわずかで、すでに彼女は聖女と
しての資格を失っているということも…。

事実を知ったジャンヌは愕然とするが、心を呆けさせるヒマもなく、悪魔騎士は次の
行動に出ていた。

彼女の目的は、ジャンヌを聖気ゼロにしてしまうこと。今なお少し残っている聖気を
消し去るため、悪魔騎士は自らの身体に宿してある悪魔にジャンヌを襲わせ、その力を
どんどん剥いでいった…。

サイト紹介

本作品を機に、はじめましてな方へ
もし宜しければ、サークルのサイト「CYCLONE ONLINE」にも
遊びに来てください♪



サイトの方では、公開しているCGや
過去作の絵・小説なんかを見る事ができます。



それなりの頻度で更新してますので、もしネットにつなげる環境でしたらこのまま…

<http://www.cyclone.sakura.ne.jp>

までアクセスして下さいませー。

サイクロン Pシリーズ3
ROGUE SPEAR 2 -ローグスピーア2

2002年5月7日 第3刷発行

著者 和泉 知也 / 冷泉
(C) CYCLONE 2002

発行人 和泉 知也
発行所 サイクロン

URL <http://www.cyclone.sakura.ne.jp/>

印刷・製本 株式会社ポプルス

■ お問い合わせ

☆この本に関するお問い合わせは、次のところへお願い致します。

本書から発生する著作権は放棄されておられませんので、
UP板・転載サイトなどへの掲載・盗用ならびに
共有ファイルとしての利用はご遠慮下さいませ



「日下部さんが実は怪盗ジャンヌの正体
だっていう証拠写真…
週刊誌に売りつけちゃうからっ！」

寺田君の脅迫から始まったまるんの
受難には、意外な裏が隠されていた。

- 繰り返される寺田君の変態的な要求
- 媚薬によって火照らされた身体
- オス犬との強制的な交尾
- そして、フィンの裏切り・調教…

悪魔の計略にはまったジャンヌは
身体を汚され、心も砕かれた。
聖女の資格を失った彼女に、
堕ちるほか道はない…